



プレスリリース

2025 年 9 月 12 日(金)

主催：東京都ミシン商工業協同組合

共催：東京都

本日は、お忙しいところ『59th FISMA TOKYO』の記者発表会ならびに出展者説明会に、多数のご参加を賜り誠にありがとうございます。また、業界関連紙誌の皆様には東京都ミシン商工業協同組合の活動に深いご理解と力強いご支援をいただき心より厚く御礼申し上げます。

回を重ねまして 60 回にあと一つと迫る第 59 回東京ファッション産業機器展「59th FISMA TOKYO」の開催 11 月 12 日まで残すところ 61 日となり、準備する私ども主催者も熱が入ってまいりました。

今回は、前回より申込出展者様が 8.2%ほど増加いたしました。これもひとえに本日お集り頂いております出展者様お一人お一人のお力添えの賜物と厚く、厚く御礼申し上げます。

59th FISMA TOKYO のテーマは「未来につなぐ、NIPPON のモノづくり」であります。

また、サブタイトルとして『アパレル、自動車・航空宇宙、インテリア、レジャー・スポーツなど裁断・縫製・プリント加工の全てが結集』と、銘を打たせていただきました。

ミシンは衣類を縫製するだけの機械という既成概念の壁を越え、新しい発想や技術を皆様にご披露いただき、働き手不足や人件費の上昇、熟練技能者の高齢化・退職に悩む縫製関連生産工場様に、生産性の高い機材や熟練オペレーターのスキルが再現できる機材をご紹介いただき、更にセットアップに掛かる時間の削減やメンテナンスの効率化など、生産性をどのようにすれば上げることが出来るのかをご提案いただければと思っております。この FISMA TOKYO（東京ファッション産業機器展）、これこそがイノベーションを巻き起こし、私たちを未来につなぐ、あるべき NIPPON のモノづくりに導くナビゲーターとなる事に間違いはないと確信いたします。

ホームユースのミシンにおいても、自らモノを作る楽しみへのいざないは忘れてはなりません。一般家庭へのミシンの普及、クラフト・アトリエでの暮らしの中でのモノづくりの楽しみもご紹介いたします。

オンライン展示会については、コロナ禍での情報伝達として実施しましたが、非接触が求められなくなった今、オンライン展示会という名称を無くし、ニューノーマルな情報発信機能としてリニューアルいたしますので、ご活用ください。

最後に、主催者がどれだけ声高に開催を叫んでみても、関係団体、出展各社様のご協力を得られなければ、展示会は成り立ちません。本日お集りの出展者様、報道各社様には 59th FISMA TOKYO に重ねて、重ねて絶大なご支援を賜ります様、心中よりお願い申し上げます。

2025 年 9 月 12 日
東京都ミシン商工業協同組合
理事長 立川 健夫

開催概要

1. 名 称：59th FISMA TOKYO（第 59 回 東京ファッション産業機器展）
2. サブタイトル：『アパレル、自動車・航空宇宙、インテリア、レジャー・スポーツなど
裁断・縫製・プリント加工の全てが結集』
3. テー マ：『未来につなぐ、NIPPON のモノづくり』
4. 会 期：2025 年 11 月 12 日(水)～13 日(木) 開催時間 10：00～17：00
5. 会 場：東京ビッグサイト 西 3 ホール（4,680 m²）
6. 主 催：東京都ミシン商工業協同組合
7. 共 催：東京都
8. 後 援：関東経済産業局
全国ミシン商工業協同組合連合会
一般社団法人 日本縫製機械工業会
日本アパレルソーイング工業組合連合会
公益財団法人 日本手芸普及協会
一般社団法人 日本キルト協会
アパレル業界新聞各社（順不同）
9. 入 場 料：1,000 円（消費税込・2 日間通用・公式ガイドブック付）
※事前来場登録者・招待券持参者は入場無料
10. 事前来場登録：
<https://www.fisma.tokyo/sys/registration/>
 - 59th FISMA TOKYO（東京ビッグサイト）入場無料（登録完了メールのプリントアウト持参）
 - 公式ホームページでの出展製品の詳細など、全ての情報の閲覧
 - 主催者企画セミナー・出展者セミナーの事前申込（10/1：申込受付開始予定）

11. 展示内容：

①縫製機器

工業用ミシン、家庭用ミシン、刺繍機 等

②縫製関連機器

ミシン用装置、部品・付属品、ミシン針、糸巻き機、モータ・制御機器、
ミシン油・潤滑油 等

③縫製準備工程機器・システム

CAD、CAM、パターンメイキング機器／システム、グレーディング機器／システム、
延反機、縮絨機、検反機、裁断用工具、研磨機、柄合わせ機、ラベル印字機 等

④縫製仕上工程機器・システム

アイロン、バキューム台、プレス機器、クリーニング・染み抜き機器、
皮革加工関連機器、転写機、製品検査機・検針器 等

⑤生産管理機器・システム

生産管理・工程管理機器／システム、入荷・出荷管理、在庫管理、設備管理 等

⑥物流機器・システム

搬送機器／システム、IC タグ、包装・梱包機器、生産・流通システム 等

⑦工場設備関連機器

照明機器、電気設備、コンプレッサー、ボイラー、空調設備、集塵機器、
オフィス設備 等

⑧繊維機器

仮より機、紡績機、準備機、織機、編機 等

⑨繊維素材・縫製品副資材

繊維・生地、レース、網、フェルト、不織布、ミシン糸、テープ・芯地・ワッペン、
皮革類、ホック・フック・ボタン・ファスナー、マネキン 等

⑩染色・加工

綿スフ麻織物機械染色、絹人絹織物機械染色、織物整理、織物手加工染色整理、
ニット・レース染色整理、インクジェット・昇華プリンター、仕上げ加工 等

⑪情報技術関連サービス

コンサルティング・サービス、新聞・雑誌、インターネット関連、支援機関、
金融機関、団体 等

⑫縫製工場活性化

人手不足対策・縫製工場自立の提案、自社ブランドの販促、縫製工場・自治体の PR、
業務改善・ビジネス創出 等

⑬様々な分野で活躍する縫製関連機器ゾーン（新設：特設 PR）

自動車・航空宇宙、靴・鞆、家具・インテリア、レジャー・スポーツ、工業製品用資機材 等

⑭DX 推進サポートゾーン（特設 PR）

- サプライチェーン（調達～製造～在庫管理～流通～販売等）、熟練技術伝承等の業務効率化
データ収集・分析・管理・活用、クラウドサービス、デジタル人材育成、コンサルティング、
AI・VR・AR・IoT、SaaS、PLM、顧客管理、リモート支援、ロボット・FA 機器、M2M、
搬送機、生産管理システム、エネルギー管理、3D（デザイン・スキャナー・プリンター） 等

⑮RFID 活用ゾーン（特設 PR）

タグ・ラベル、インレット、自動印字貼付機、ハンディターミナル・リーダライタ、
ソフトウェア、対応機器（POS・EAS 他）、カゴ車、パレット 等

12. 主催者企画 【(4) のセミナー以外は、会場内にて展示コーナーとして展開】

(1) 様々な分野で活躍する縫製関連機器コーナー

新たに設定した展示会のサブタイトルを具体的にご覧いただくコーナーです。アパレル製品の製造を中心に活躍する縫製関連機器ですが、カーテンやカーペット等のインテリア関連から、靴や靴などの革製品、自動車のシートやエアバッグ、軟らかさや強さが求められる工業製品まで、裁断や縫製、プリント加工など、様々な機器が使用されています。

これらの製品の製造過程や加工機器をご紹介しますことで、従来とは異なる新たな層の来場者にお越しいただいたり、既存ユーザーへは新製品開発のヒントにしていいただいたり、様々な広がりを期待しています。

(2) 特別展示コーナー『ファクトリーブランドの創り方』

～100年、200年、300年後も続く、NIPPONのモノづくりのために～

★協力：日本アパレルソーイング工業組合連合会

かつて日本の衣服の自給率は50%を誇っていましたが、現在では2%を下回る状況にあります。そのような現状を変えるべく自ら発信する力を持つと立ち上がった縫製工場をご紹介します。縫製工場がファクトリーブランドを立ち上げるのは容易なことではありませんが、日本アパレルソーイング工業組合連合会と山縣良和氏が主宰する「coconogacco」が協働して始動した取り組み「Creative Craftsman Course」により着実に成果を出しています。

coconogaccoの講師陣がチューターとしてサポートする中で、縫製工場は「自分たちの強みとは何か」「何を生み出したいのか」と真剣に向き合い、「工場の新しい取り組み=ファクトリーブランドを創る」といった短絡的なことではなく、もっと根源的な、ファッションとは何か、クリエイションとは何かを考え、悩み、新しい思考を手に入れました。

今も自社で模索しながら歩み続けている工場の取り組みの一部を紹介し、未完成ではあるが今後の可能性を感じていただける内容になっています。日本の縫製工場、モノづくりの現状、技術力の高さを体感してください。

★参加する縫製工場（順不同）

株式会社アーバン（大阪服装縫製工業組合）

サンエース株式会社（岐阜県既製服縫製工業組合）

株式会社スタイル（大阪服装縫製工業組合）

有限会社内房スバルソーイング（東京婦人子供服縫製工業組合）

株式会社久留米サンモード（福岡ファッション協同組合）

株式会社マーヤ（東京洋装協同組合）

★このがっこう coconogacco

“このがっこう”とは、2008年に山縣良和によって開講された、世界と自分自身の装いの原点に向き合いながら、ファッションを学ぶがっこうです。「ここ」とは、場所を表す「ここ」であると同時に、個々人を表す「ここ」という意味が込められています。国内外で活躍する多くのデザイナーやアーティストを輩出しました。受講生・修了生は、LVMH プライズ、イェール国際モードフェスティバル、ITS など国際コンペティションのファイナリストに数多くノミネートされ国際的な評価を得ています。2021年、第39回毎日ファッション大賞、鯨岡阿美子賞を受賞しました。

(3) モノづくり体験コーナー (参加有料。会場内にて当日受付)

出展各メーカーのミシンを使用したモノづくり体験ができます。最新のミシンの使いやすさや機能性を体験いただき、自分で作る楽しさやミシンの便利さを体験していただきます。

ミシンメーカー・ディーラーが丁寧にサポートします。

- ★【協賛企業】 ●株式会社 ジャノメ 『8号帆布のミニバッグ』
- ブラザー販売株式会社 『刺しゅう入りバネロポーチ』
- 株式会社 ベビーロック 『リバティ帆布で作る フラットポーチ』

(4) 主催者企画セミナー (Web 事前申込制 <https://www.fisma.tokyo/sys/seminar>)

①主催者セミナー 会場：ホール内セミナー会場

- ・テーマ：一歩踏み込んだパターン作り ～ものづくりの楽しさのために～
- ・講師：矢野 弘子 氏
 - ・ヤノモデリストオフィス 代表
 - ・日本モデリスト協会 運営委員
- ・日時：11月12日(水) 12:15～13:45 、 11月13日(木) 14:45～16:15
- ・概要：(レディス ラフジャケット編)
 - *肩まわりの作り方
 - *腕を上げやすくする袖の設計
 - *附属の使い方と変わるシルエット
 - *バストダーツを活かす
 - *体感しよう シルエットと着心地

②技術実演セミナー 会場：ホール内セミナー会場

- ・テーマ：『縫製の原点から、これからのモノづくり技術—楽しさを求めて』
～生地特性を活かそう～
- ・講師：稲荷田 征 氏 (現代の名工)
 - ・文化ファッション大学院大学 名誉教授
 - ・日本モデリスト協会 特任委員
 - ・厚生労働省 ものづくりマイスター

★鈴木 好夫 氏（マイスター）

東京マイスター（東京都優秀技能者）

中央能力開発協会中央技能検定委員

★佐藤 順子 氏（現代の名工）

厚生労働省 ものづくりマイスター

（一社）日本洋装協会 理事長

・一級婦人服子供服製造

・日 時：11月12日（水）14:15～16:15 、 11月13日（木）12:15～14:15

・概 要：縫製技術を簡単に説明すると、生地と生地の縫合・ミシン掛け・アイロン掛けを繰り返しながら順番よく進めると型（ホルム）が出来上がります。それが立体化された服です。そこには生地特性の壁があり、この壁を乗り越える楽しさがあり、それがモノづくりの楽しさと達成感を満たしてくれる縫製技術です。

この技術を活かしながら服づくりの楽しさを追求しよう。

一着丸縫いできる技能者 ・一級技能士 ・モノづくりマイスター ・現代の名工

さらに日本だけでなく世界に通じる縫製技術者を目指そう。

【演 題】 ☆ バイヤスを効果的に活かした → 衿づくり（ショールカラー）

☆ パターン展開から衿づくりまで

☆ 縫製現場からの発想デザイン（左右アシンメトリ）ジャケット

☆ 出来上がり製品の説明

③特別セミナー

会場：ホール内セミナー会場

・テーマ：「縫製工場の新たな挑戦 ―職人による可能性の種まき―」

・講 師、日 時：（3名とも、coconogacco・creative craftsman course チューター）

11月12日（水） 10:30～11:30

大草 桃子 氏（writtenafterwards creative field manager）

今田 早紀 氏（デザイナー・作家）

11月13日（木） 10:30～11:30

大草 桃子 氏（writtenafterwards creative field manager）

川住 研二 氏（ドウガル（DOUGALL）デザイナー）

・概 要：日本のファッション産業の技術を担ってきた縫製工場。

その要の職人たちがファッションデザインを学び、チームによる企画や発信の力を身に付けることを目的としたプログラムを2回に渡り開催しました。

制作過程と成果を通して、デザインの思考プロセスを学ぶことや特色を見つけることはどういうことか。「ファクトリーブランド」にとどまらず、アイディアを生み出し自発的に発信することの意味を探り、未来のチームづくりへと歩み始めた縫製工場の姿を展示と共にご紹介します。

（5）その他

●FISMA TOKYO コンシェルジュ（各種お悩み相談窓口、出展製品の紹介 など）

13. 公式ホームページ

前回、前々回の FISMA TOKYO では、コロナ禍への対応としてオンライン展示会を併催していました。非接触を求められなくなった今、公開期間を区切ったオンライン展示会は実施せず、新たな出展者の紹介方法として、公式ホームページに出展各社の詳細な製品情報を、次回(60th FISMA TOKYO)に情報が更新されるまで公開するように変更しました。

また、新たな取り組みとして、出展者によるニュース掲載を実施します。FISMA TOKYO には直接関係しない内容でも、出展各社のビジネスに関連する内容であれば原則自由に情報を発信いただける機能です。例えば、新製品の発表、人事異動、営業所の移転、イベント案内などを発信いただくことで、ユーザーから日々情報が更新されるサイトとして認識いただき、頻繁に閲覧いただけるようにしたいと考えました。

14. 併催行事

- (1) 出展者セミナー (Web 事前申込制 <https://www.fisma.tokyo/sys/seminar>) 会場：上階会議室
出展各社が専用ルームを使用しプレゼンを実施。3 社 6 セッション開講。

開講時間	タイトル		タイトル	
	会社名	TEL	会社名	TEL
	11月12日(水)		11月13日(木)	
12:00～13:00▶	3DシミュレーションソフトCLOの最新機能と活用事例のご紹介		3DシミュレーションソフトCLOの最新機能と活用事例のご紹介	
	(株)ユカアンドアルファ	03-6452-2626	(株)ユカアンドアルファ	03-6452-2626
13:30～14:30▶	AI技術を活用した工場の未来		AI技術を活用した工場の未来	
	(株)アベイル	045-482-4932	(株)アベイル	045-482-4932
15:00～16:00▶	検針作業に関する課題にAIとRFIDの活用でお応えします		検針作業に関する課題にAIとRFIDの活用でお応えします	
	(株)ハシマ	03-5793-8400	(株)ハシマ	03-5793-8400

- (2) 製品紹介セミナー (当日受付) 会場：ホール内ミニセミナースペース

展示会場内では、出展製品・サービスを紹介する製品紹介セミナーを実施。

1 セッション 15 分のミニセミナーで、3 社 5 セッション開講。

開講時間	タイトル	タイトル
	会社名	会社名
	11月12日(水)	11月13日(木)
11:30～11:45▶	地糸切れトラブルを解説！針選定の新提案	地糸切れトラブルを解説！針選定の新提案
	オルガン針(株)	オルガン針(株)
12:00～12:15▶	ドイツweit社の概要と特徴	ドイツweit社の概要と特徴
	(株)ニツセン	(株)ニツセン
14:00～14:15▶	熟練の技を残す！動画でかんたん！技能伝承＆作業教育！	
	(株)日本生工技研	

15. 特設ゾーン

特に注目いただきたい分野について、特設ゾーンとして会場マップに色を付けるなど強調を行い、ユーザーへの導入促進を支援します。

★①【様々な分野で活躍する縫製関連機器ゾーン】

- 川上製作所

展示製品・内容調整中

- 島精機製作所

SHIMA SEIKI の自動裁断機<CAM>と設計システム<CAD>はあらゆるニーズに徹底対応します

- 精電舎電子工業

「針も糸も使わない」超音波溶着がもたらす新たな可能性

- ブラザー工業

展示製品・内容調整中

★②【DX 推進サポートゾーン】

- アベイル

経営改革シリーズ 21+・PRG・AP+と AI 技術で、工場の生産性向上を支援します。

- インフォアイ

展示製品・内容調整中

- 東レ ACS

急速に変化する IT 環境に対応しアパレルの企画設計工程の更なる生産性向上をアシストします。

- 豊島

豊島(株)は AI を活用してファッションの創造性や可能性を広げる取り組みに力を入れています。

- 日本生工技研

展示製品・内容調整中

- ユカアンドアルファ

展示製品・内容調整中

★③【RFID 活用ゾーン】

- ハシマ

展示製品・内容調整中

以上

59th FISMA TOKYO の事前来場登録受付中

1,000 円の入場料が無料になるほか、

セミナー聴講申し込み・出展者情報も随時公開予定（10 月 1 日～）。

詳細は、公式 WEB サイト (<https://www.fisma.tokyo/>) をご覧ください。

会期中の写真撮影・取材の際は、当日事務局へお越してください。

【 お問い合わせ 】

FISMA TOKYO(東京ファッション産業機器展)事務局

〒110-0016 東京都台東区台東 1-21-4 東京ミシン会館 5 階

TEL : 03-6803-0272 FAX : 03-3835-1025 E-mail : jimukyoku@fisma.tokyo